

薬局漢方



腎精不足・脾腎陽虚による 不育症，不妊症の漢方治療

千葉県 誠心堂薬局 薬剤師

忠地 珠里

千葉県 誠心堂薬局 中医学アドバイザー

張 樹英

■症 例

患 者：女性，35歳，156cm，75kg，事務職。

H18年1月25日初診

主 訴：不育症，不妊症

初診時までの経過：結婚3年，自然妊娠したものの3回とも心拍確認出来ず5週～7週での稽留流産により掻抓手術。不育症の血液検査により染色体欠損の原因と判明。

人工授精，体外受精，顕微授精などの高度治療は未。

現 症：3回続けての流産を経験し，医師からは次に妊娠，出産まで維持できる可能性は5%と告げられた。最後の流産から妊娠せず，漢方薬に期待し来店。流産後生理周期が長くなり基礎体温が一相性，低温期が長く，全体に体温が低い。高温期が不安定で短くギザギザした形。

生理の状態は，初潮が12歳，28～31日周期，7～10日間の出血。月経痛，経血の塊，月経前症状は特になし。体調全般は，耳鳴り肥満，頻尿，夜間尿，むくみの症状がある。

舌淡 苔薄白。

家族歴：母，姉 子宮筋腫により手術。

妹 16歳で卵巣がんにより病死。

弁 証：腎精不足，腎陽虚弱。

治 療：弁証に基づき月経周期に合わせた処方調節。以下参照。

月経期：理気養血活血 当帰芍薬散 + 温経湯

低温期：補益気血，滋陰補腎 六味丸 + 十全大補湯

高温期：温補腎陽 八味丸 + 十全大補湯

全周期通して，上記のメイン処方にプラスし鹿茸，巴戟天，杜仲などの補腎薬含有の丸剤である参茸補血丸と，膏剤である瓊玉膏を合わせた。

経過は，耳鳴りが改善し，基礎体温も明確な二相に分かれた。3年半の漢方服用により，漢方周期療法のみで妊娠にいたった。

病因病機：もともと腎精が不足しており，受精卵も染色体欠損などで妊娠が維持出来ない状態だった。後天の精の材料である気血を補うことで，卵胞の質を上げていくことができた。また同時に六味丸や八味丸をベースに鹿茸，巴戟天，杜仲などの腎陽を補う物を使用し，着床，妊娠維持に至る結果となった。